

各種認定資格取得者数の推移

認定資格取得は、臨床検査技師としてスキルアップを図るためには有効な手段のひとつであります。平成24年度には認定輸血検査技師の資格認定機関研修に対する受講について支援が認められ、各支部においても認定資格取得に向けた研修会が積極的に開催されるなど資格取得への環境も整いつつあります。また、資格取得後も検査室のレベルアップ、診療部との信頼関係、チーム医療への参画等、資格をどのように活かして施設の医療の質向上に繋げていくかが重要になってきております。

平成25年5月現在の認定資格取得者状況を年代別及び各種認定資格取得者の年次推移を下記に記載します。ここ数年は若手の取得者数が増えてきておりますが、複数種類の資格取得に向けて、さらなる研鑽に励んでいただきたいと思っております。

年齢別の主な認定資格取得者数（平成25.05現在）

（平成24年度組織実態調査より）

	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	合計
細胞検査士	51	49	83	101	284
超音波検査士	41	118	108	76	343
日本糖尿病療養指導士	2	10	13	19	44
認定輸血検査技師	0	16	21	15	52
認定臨床微生物検査技師	1	8	11	10	30
NST専門臨床検査技師	3	9	10	9	31

主な認定資格取得者の推移

（平成19年度～24年度組織実態調査より）

	H20.05	H21.05	H22.05	H23.05	H24.05	H25.05
細胞検査士	263	267	275	283	283	284
超音波検査士	238	254	283	313	328	343
日本糖尿病療養指導士	56	53	51	48	44	44
認定輸血検査技師	46	48	49	47	51	52
認定臨床微生物検査技師	23	22	23	24	26	30
NST専門臨床検査技師	4	12	18	22	22	31

